

令和2年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市脇野沢リフレッシュセンター鱈の里、むつ市脇野沢野営場	
指定管理者	団体名	一般社団法人むつ市脇野沢農業振興公社
	代表者	理事長 二本柳 茂
	所在地	むつ市脇野沢七引201番地5
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	(1) 交流事業等による地域の活性化 (2) 施設、設備の提供 (3) 施設の使用許可、使用に係る料金徴収 (4) 施設の維持及び修繕	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	7, 1 6 6	6, 6 1 0	△ 5 5 6
うち利用料金額	6 0 0	4 4	△ 5 5 6
うち指定管理料	6, 5 6 6	6, 5 6 6	0
支 出 合 計 (B)	7, 1 6 6	6, 5 2 3	△ 6 4 3
うち人件費	4, 0 6 4	4, 0 6 2	△ 2
収支差 (A-B)	0	8 7	8 7
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	・バンガローの老朽化やコロナウイルス感染症により、利用者の減による収入の減 ・人件費、水道光熱費、修繕費の経費節減による減		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	鱈の里入館者数	30, 000人	9, 370人	△ 20, 630人
	調理実習室利用日数	160日	0日	△ 160日
	バンガロー利用棟数	35棟	0棟	△ 35棟

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有 無 ）

バンガローについては、コロナウイルス感染症のため、利用はなかった。

リフレッシュセンター鱈の里についても、コロナウイルス感染症のため、4月5月を中心に閉館を余儀なくされ、結果、利用者が減少した。

4. 自主事業の実施業況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
物産販売事業 (4/1～11/30)	3, 000	4, 065	4, 007

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目の改善策を記載すること。

リフレッシュセンター鱈の里は、「道の駅わきのさわ」としても利用されており、来訪者が気持ち良く利用できるよう努めている。

また、コロナウイルス感染症対策を行ない、観光客へニホンザルやカマイルカのPRに努めた。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

コロナ禍で入館者数が大きく減少し利用料金収入も減少するなか、経費削減に努め不況に柔軟に対応された。施設内は清潔に保たれており、利用者も快適に利用出来たと評価出来る。物産販売事業収入も落ち込んでしまったが、徐々に入館者数が増えるにつれ、増加すると考えられることから、今まで以上のPRや販売促進に努めていただきたい。